

営農発電が見据える「脱FIT時代」

営農しながら、農地上に設置された太陽光発電によって電気を作り出す営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)が多くなるとの関心を集めている。この発電方法による地域振興を目指し様々な事業を行っている千葉県エコ・エネルギー(以下、千葉エコ)が農業に参入した。13日に千葉市内で自ら建設した千葉県大木戸アグリ・エナジー1号機(出力777・15kw)で関係者を集め落成式が開かれた。

○農業に軸足を置く 営農型発電

落成式では同社の馬上司社長が農業参入にかけるとの想いを述べる。これまで営農がそれぞれの立場から祝意を寄せた。参加者は同社のスタッフから説明を受け、これまでのソーラーシェアリング運営によるノウハウが集積した最新の太陽光発電所・農業施設を視察した。約1秒の畑を干葉エゴが自社で真摯に、農業と発電事業を一体で実施することが大きな特徴だ。

○農業法人設立、ニンニクを栽培へ

千葉エコはこれまでにもソーラーシェアリング事業に携わってきたが、大木戸発電所が自社で建設する初の設備となる。同時に農業も同社スタッフが行うことで農業に参入することになる。

の期待が高まり、実際に導入する事例も増えている。千葉エコではこれまで関わったソーラーシェアリング運営で得られたノウハウを大木戸発電所に投入している。

千葉真内の高圧規模で初となる藤棚式のソーラーシェアリング専用設計アルミフレームを採用し、斜めの筋交いがなく構造とすることでトラクタなど農業機械による作業性を確保したほか、作物の畝設計に併せた支柱間隔となるなどの工夫を凝らしている。

さらに、支柱の打ち込み部はスクリーナを採用。ビル技研(千葉葉野田市)製の浮上防止BASEを杭に装着して堅牢性と安定性を確保している。パワコンは静電性があることと農作業によって大量に発生する埃にも強いSMA社製としてニンニクを選定した。管理の手間が異なるなど比較

作業を考慮して地卜師の深さを確保した。

千葉エコが農業参入

千葉市大木戸アグリ・エナジー1号機落成



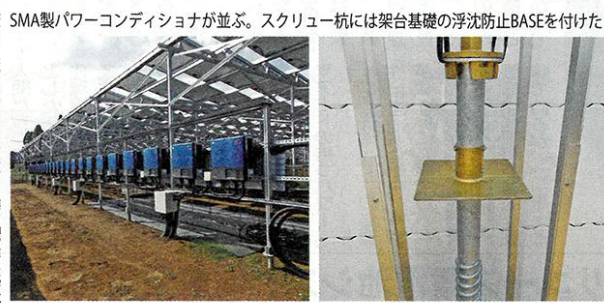
落成した大木戸ソーラーシェアリング。その落成式で挨拶する馬上司社長

が異なるなど比較作業を考慮して地卜師の深さを確保した。



柱の設計を見直すことで、トラクタでの作業も容易になった

- ▽モジュール：トリナ・ソーラー社製
- ▽モジュール設置枚数：2826枚
- ▽PCS：SMA社製
- ▽PCS設置台数：25台
- ▽架台(本体)：日本BSL社製
- ▽架台(基礎)：ビル技研社製
- ▽浮上防止BASE：十スクリーン杭
- ▽架台支柱本数：523本
- ▽施工会社：ビル技研



SMA製パワーコンディショナが並ぶ。スクリーナ杭には架台基礎の浮上防止BASEを付けた

太陽光パネル下での土作りなどの農作業は始まっている。自らもトラクタで農作業を行う富岡氏は「地域の人たちに農業の担い手として認められ、農業とエネルギーの次世代型農業を確立したい」と意気込みを語っている。発電事業と農業の両立を図るためのノウハウを持った事業者が少ないだけに今後の動きが注目される。

全園各地でTDD(テニカル・テューテリジエンス)のおよびO&Mを提供しているアドラーソーラーワークス(神奈川県)

代表：平野規紀氏は、大規模ソーラーシェアリング型太陽光発電設備「千葉市大木戸アグリ・エナジー1号機」(所有：千葉エコ・エナジー)の竣工検査をおよびO&M業務を受託したと発表した。

アドラーソーラーワークスは、既に特別高圧での営農を行うために

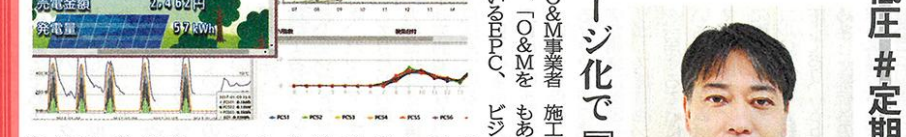


千葉市大木戸アグリ・エナジー1号機(提供：アドラーソーラーワークス)

異なる発電設備の下で営農を行うために、アドラーソーラーワークスは、既に特別高圧での営農を行うために

太陽光O&M新時代 - 100年発電への布石

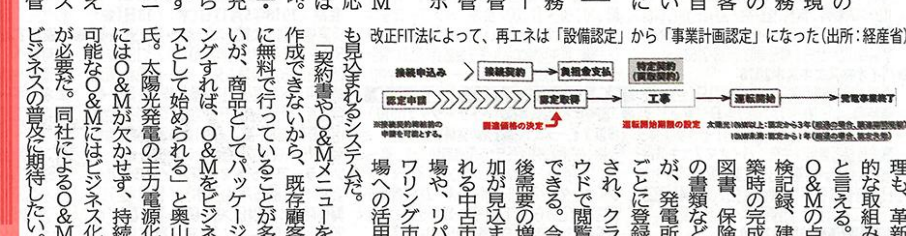
O&Mの第一歩は遠隔監視だ(画像はイメージ)



「パッケージ化で『事業としてのO&M』展開」

自らが太陽光O&M事業者として、施工店などを支援する組織で、O&Mを実施する。通常業務であるとともに、「O&Mをもっと」と話すのはエナジービジョン代表取締役の奥山恭之氏。同氏が提供する「1ターラO&M支援サービス」は、O&Mサポートの立ち上げ時の初期支援から、各種業務の継続サポートまで、文字通り提携企業のO&Mを1ターラで支援するサービスだ。

具体的にはサービスタウンの初期支援、事故対応、継続サポート、文字通り提携企業のO&Mを1ターラで支援するサービスだ。また、報告書も査問チームによる電子データの一括管理も提供される。



改正FIT法によって、再エネは「設備認定」から「事業計画認定」になった(出所：経産省)

第①回 #低圧#定期点検 #支援サービス

株式会社 エナジービジョン 代表取締役 奥山 恭之 氏



する。ノウハウがゼロの状態でもサービスタウン開始が実現できる。実行できない業務は、エナジービジョンや他の提携企業が代行。例えば顧客が複数の発電所を所有している場合、提携企業が代わりに

理も、革新的な取組みと言える。O&Mの点検記録、建築時の完成図書、保険の書類などが、発電所に登録されている。クラウドで閲覧できる。今後必要の増加が見込まれる中古市場や、リパワーク場の活用

千葉市大木戸アグリ・エナジー1号機のO&Mはアドラーソーラーワークスが担当

検査用ドローン活用も視野に営農型発電のメンテ実施

アドラーソーラーワークスは、既に特別高圧での営農を行うために、アドラーソーラーワークスは、既に特別高圧での営農を行うために

アドラーソーラーワークスは、既に特別高圧での営農を行うために、アドラーソーラーワークスは、既に特別高圧での営農を行うために